

農林水産省

会見・報道・広報

政策情報

統計情報

申請・お問い合わせ

農林水産省について

[ホーム](#) > [会見・報道・広報](#) > [報道発表資料](#) > 平成30年度(第57回)農林水産祭天皇杯等の選賞について

プレスリリース

平成30年度(第57回)農林水産祭天皇杯等の選賞について

ツイート

印刷

平成30年10月18日

農林水産省

(公財)日本農林漁業振興会

本日、農林水産祭中央審査委員会(会長 難波 成任氏)が開催され、平成30年度(第57回)農林水産祭の天皇杯受賞者、内閣総理大臣賞受賞者、日本農林漁業振興会会長賞受賞者が決定されました。

1.概要

天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞は、過去1年間(平成29年8月～平成30年7月)の農林水産祭(※)参加表彰行事(302件)において、農林水産大臣賞を受賞した512点の中から決定されたものです。各賞は、農産・蚕糸部門、園芸部門、畜産部門、林産部門、水産部門、多角化経営部門、むらづくり部門の7部門に授与されます。また、女性の活躍が著しい2点に対して、内閣総理大臣賞と日本農林漁業振興会会長賞が授与されます。

(※)農林水産祭:国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と公益財団法人日本農林漁業振興会の共催により昭和37年から実施しています。

2.表彰

表彰は、勤労感謝の日の11月23日(金曜日)11時40分から明治神宮会館で開催する農林水産祭式典において行われます。

(添付資料)

(別添1)平成30年度(第57回)農林水産祭天皇杯等受賞者一覧(PDF:139KB)

(別添2)平成30年度天皇杯受賞者受賞理由概要(PDF:817KB)

(別添3)平成30年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要(PDF:569KB)

(別添4)平成30年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要(PDF:764KB)

(別添5)平成30年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要 女性の活躍(PDF:237KB)

(別添6)平成30年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要 女性の活躍(PDF:297KB)

お問合せ先

大臣官房文書課

担当者:齋藤、中村

代表:03-3502-8111(内線3055)

ダイヤルイン:03-3502-8040

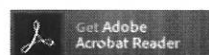
FAX番号:03-3501-9649

公益財団法人日本農林漁業振興会

担当者:山田

代表:03-6441-0791

PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。
Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。



公式SNS



イベント情報

関連リンク集

農林水産省
トップページへ

農林水産省

住所: 〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
電話: 03-3502-8111 (代表)
法人番号: 5000012080001

ご意見・お問い合わせ

アクセス・地図

[サイトマップ](#) [プライバシーポリシー](#) [リンクについて・著作権](#) [免責事項](#)

Copyright : Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

平成30年度(第57回)農林水産祭天皇杯等受賞者一覧

1 天皇杯

部 門	出品財	受 賞 者		表彰行事
		住 所	氏 名 等	
農産・蚕糸	経 営 (水稻・秋小麦)	北海道 うりゅうぐんもせうしちょう 雨竜郡妹背牛町	さとう ただ み 佐藤 忠美	第47回日本農業賞
園 芸	経 営 (トマト)	とよはし 愛知県豊橋市	とよはし JA豊橋トマト部会 (代表 おおたけ ひろし 大竹 浩史)	第47回日本農業賞
畜 産	経 営 (酪農)	やまがし 熊本県山鹿市	うちがしま けんゆう 内ヶ島 賢勇* うちがしま み つ よ 内ヶ島 美津代*	平成29年度熊本県農業コンクール大会
林 産	経 営 (林業)	三重県 きたむろぐんきほくちょう 北牟婁郡紀北町	はやみ とおる 速水 亨* はやみ し の 速水 紫乃*	全国林業経営推奨行事
水 産	産 物 (水産加工品)	しずおか 静岡県静岡市	にしお 有限会社西尾商店 (代表 にしお きみのぶ 西尾 公伸)	第64回全国水産加工たべもの展
多角化経営	経 営 (ねぎ)	きょうとし 京都府京都市	きょうと こと京都株式会社 (代表 やまだ としゆき 山田 敏之)	平成29年度全国優良経営体表彰
むらづくり	むらづくり 活動	いちのせきし 岩手県一関市	ほんでらちく 本寺地区地域づくり 推進協議会 (代表 ささき かつし 佐々木 勝志)	第40回豊かなむらづくり全国表彰事業

(注)氏名等の欄に＊を付したのは、夫婦連名で表彰するもの。

2 内閣総理大臣賞

部 門	出品財	受 賞 者		表彰行事
		住 所	氏 名 等	
農産・蚕糸	経 営 (茶)	鹿児島県 みなみきゅうしゅうし 南九州市	有限会社小磯製茶 (代表 小磯 雅一)	平成29年度全 国優良経営体 表彰
園 芸	経 営 (多肉植物)	静岡県浜松市	株式会社カクト・ロコ (代表 野末 信子)	平成29年度農 山漁村女性活 躍表彰
畜 産	経 営 (肉用牛一貫)	長野県東御市	峯村 誠太郎* 峯村 伊世*	平成29年度全 国優良畜産経 営管理技術発 表会
林 産	産 物 (木炭)	岩手県久慈市	谷地 司	平成29年度岩 手県木炭品評 会
水 産	産 物 (水産加工品)	静岡県焼津市	焼津冷蔵株式会社 (代表 原崎 太輔)	第15回静岡県 水産加工品総 合品評会
多角化経営	経 営 (在来作物)	奈良県奈良市	プロジェクト栗 (代表 三浦 雅之)	第47回日本農 業賞
むらづくり	むらづくり 活動	岐阜県 かもぐんしらかわちょう 加茂郡白川町	特定非営利活動法人 ゆうきハートネット (代表 佐伯 薫)	第40回豊かな むらづくり全国 表彰事業

(注)氏名等の欄に*を付したのは、夫婦連名で表彰するもの。

3 日本農林漁業振興会会長賞

部 門	出品財	受 賞 者		表彰行事
		住 所	氏 名 等	
農産・蚕糸	経 営 (麦類)	おかざきし 愛知県岡崎市	にむら ちかや 二村 誓也	平成29年度全 国麦作共励会
園 芸	経 営 (おうとう、 西洋なし、 りんご)	ひがしねし 山形県東根市	たいよう 株式会社太陽のおくりもの さいとう 斉藤果樹園 (代表 さいとう ゆういちろう 斉藤 雄一郎)	第19回全国果 樹技術・経営コ ンクール
畜 産	経 営 (養豚)	つるおかし 山形県鶴岡市	いがらし 株式会社五十嵐ファーム (代表 いがらし かずはる 五十嵐 一春)	平成29年度全 国優良畜産経 営管理技術発 表会
林 産	産 物 (木材)	まにわし 岡山県真庭市	やました 山下木材株式会社 製材工場 (代表 やました ゆたか 山下 豊)	第45回JAS製材 品普及推進展 示会
水 産	経 営 (水産業)	あまくさし 熊本県天草市	ますだ さ お り 益田 沙央里	平成29年度農 山漁村女性活 躍表彰
多角化経営	経 営 (野菜・ 農産加工)	沖縄県 くにがみぐんなきじんそん 国頭郡今帰仁村	株式会社 あいあいファーム (代表 きむら おさむ 木村 修)	平成29年6次産 業化優良事例 表彰
むらづくり	むらづくり 活動	鹿児島県 さつまぐん ちよう 薩摩郡さつま町	なかつがわく 中津川区公民館 (代表 まるぐち けんいち 丸口 憲一)	第40回豊かな むらづくり全国 表彰事業

4 女性の活躍

(1) 内閣総理大臣賞

部 門	出品財	受 賞 者		表彰行事
		住 所	氏 名 等	
園 芸	女性の活躍	静岡県浜松市 ^{はままつし}	株式会社カクト・ロコ (代表 ^{のすえ} 野末 ^{のぶこ} 信子)	平成29年度農 山漁村女性活 躍表彰

(2) 日本農林漁業振興会会長賞

部 門	出品財	受 賞 者		表彰行事
		住 所	氏 名 等	
水 産	女性の活躍	熊本県天草市 ^{あまくさし}	^{ますだ} 益田 ^{さおり} 沙央里	平成29年度農 山漁村女性活 躍表彰

平成30年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
多角化経営部門

三者の連携・協働による地域活性化と伝統野菜の継承

○氏名又は名称 プロジェクト栗（代表 三浦 雅之）

○所在地 奈良県奈良市

○出品財 経営（在来作物）

○受賞理由

・地域の概要

奈良市は、奈良県の北部に位置し、歴史的文化財や建造物も多く、都市近郊の利点を生かした販売を行う生産者も多い。また、観光産業との相乗効果を高めるために「奈良の在来作物」である「大和の伝統野菜」のブランド化を進めている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

「プロジェクト栗」は、三浦夫妻の、奈良の在来作物を活用した地域活性化事業構想に端を発し、発足した。農業の六次産業化をはじめとした産業創出に取り組む「株式会社 栗」、伝統野菜の調査研究と文化継承を行う「NPO 法人清澄の村」、地元の集落営農組織である「五ヶ谷営農協議会」の3者が連携・協働しながら、大和の伝統野菜に関する情報発信、生産及び農家レストラン等を運営している。また「奈良の在来作物」の発掘、保存、栽培を通して、地域のコミュニティ機能の再構築と地域創造に取り組み、中山間地域の活性化に寄与している。地域内外の幅広い能力を持つ人々が参画、交流し、組織の枠にとられない多世代のネットワークが形成され、利益、共益、公益のバランスのとれた事業展開を可能にしている。

・受賞者の特色

（1）在来作物の継承

土地の食文化と共に受け継がれてきた栗やしょうが等の多種多様な在来作物を引き継ぎ、地域の大切な歴史文化資源として大きな価値をもたせるための公益活動が「プロジェクト栗」において行われることにより、中山間地域の営農活動の維持、地域の農村環境が保持されている。

（2）在来作物を使った加工品開発

「五ヶ谷営農協議会」などの地元農家から種子を譲り受けて栽培方法を学び、「NPO 法人清澄の村」が地元の生産者とネットワークを組んで、在来作物の特産化を進めた。また、大学等との連携による商品開発も行い、レストランで提供することで、生産とサービスの好スパイラルを実現している。

・普及性と今後の発展方向

地域資源を活用した農業振興、地域創造の試みは、地域文化の継承、産業と雇用の創出、景観や環境の保全など様々な分野における相乗効果をもたらしている。継続的な活動とするため、伝統野菜を活用するレストラン起業家の支援を行うほか、食べる通信などとも連携しながら、食×農×観光などの波及効果も生み出していく。

